



晴れの門出を迎え

夢と希望を抱き、715人が大人の仲間入り

「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます（国民の祝日に関する法律）」ことを趣旨に、各地で開催される成人式。

新成人の門出を祝う成人式が、1月8日、パトリア日田で開催されました。会場には、色鮮やかな振り袖や真新しいスーツなどに身を包んだ新成人が集い、友との再会を喜び合い、旧交を深めていました。

今年（平成28年）4月2日から平成29年4月1日生まれの715人が対象で、うち663人が出席。また、家族も大勢駆けつけ、節目の日を祝福しました。

式典では、原田啓介市長が「大人の仲間入りをされ、法律的にも権利と義務を与えられると同時に、社会の構成員の一員として、自覚と責任ある行動が求められる人生の大きな節目を迎えられました。皆さんには、日田市とこれからもずっと関わっていただくため、まず、日田市を愛し、誇りに思っていたいただきたいと思えます。日田市に生まれたことに誇りを持ち、それぞれが未来に「夢と希望」を抱き、その夢に向かってまい進されることを期待します」と新成人を激励。

その後、各地区の代表者に成人証書が授与され、二十歳の決意発表や市民憲章朗読などが行われました。

分からなくなってしまうことも多々あります。

しかし、選択からは逃れられませんが、二十歳となった今、できること、それは色々なことに挑戦し、経験から学び、自分についてそして社会について考えることだと思えます。しかし、そういった過程の中で、時には大きな壁が立ちほだかることもあるでしょう。悔しかったり、落ち込んだり、泣きたくなることもあるでしょう。その時はたくさん悩み、立ち止まって考え、自分なりの答えを出せるような人になりたいと思えます。

そして、最後に決して忘れてはいけないこと、それは「感謝」することです。今の自分があるのは、日々切磋琢磨し、たくさん笑いあった友人、様々なことを熱く指導してくださった先生方、そして、ここまで私を育ててくれた家族がいたからです。叱ってくれたり、褒めてくれたり、たくさんさんの無理を聞いてくれてありがとうございます。必ず恩返しができるように、「大人」になることの自覚、感謝の気持ちを持ち、未来に向かって挑戦し続けることをここに誓います。



二十歳の決意



松本大樹さん（中尾町）

本日は、私達の門出に対し、このような盛大な成人式を催していただき、誠にありがとうございます。そして、お祝いや激励の言葉をいただきました。市長様をはじめ、本日まで出席いただきました来賓の皆様が成人者を代表してお礼申し上げます。

さて、私達も二十歳を迎え私をはじめ、すでに職業に就いている者や、学業を継続中の者もございませぬ。それぞれ周りの環境や状況は違いますが、社会人一年生として皆様の仲間入りをさせていただくことになりました。皆様から頂いた意義深い教訓を胸に刻み、社会人として頑張っていきたいと思えます。

新社会人になるにあたって、喜びや期待とともに、責任や自覚を持たなければなりません。今まで責任を持つといっても正直、両親や周りの方々に甘えている部分もありました。しかし、これからはそうはいきません。自分自身で考え行動し、自身で責任を負って

かなければなりません。成人となつたばかりの私達は、まだまだ未熟で不安もたくさんありますが、生まれ育ったこの自然豊かで、人情味のあるこの日田をふるさととし、誇りに思い少しでも社会に貢献できるように努力していきたいと思えます。どうぞこれからも私達を温かく見守ってくださいませようお願いします。

最後に、本日までご臨席を賜りましてご来賓の皆様、これまで私達の成長を見守り、育ててくださいました両親、家族、友人、恩師の方々、地域の皆様、このような盛大な成人式を催してくださいました関係者の皆様に深く感謝いたします。

この日をお忘れることなく、新成人として日々精進していく事を誓い、新成人の決意と抱負とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。ありがとうございました。



中島梨花さん（丸山二丁目）

本日は、このように生まれ育った日田で成人式を迎えられること、そして二十歳の決意としてこの場

に立たせていただけることに喜びを感じると共に、大変深く感謝申し上げます。

現在、私は日田を離れ、筑波大学で勉学に努めています。今、こうやって日田を離れてみると、澄んだ水、豊かな山林、夏は全国一となる暑さ、川開き観光祭に、祇園祭、天領まつり、話しなれた日田弁に、日田の人の温かさ、どれも懐かしく、また、日田にしかない良さがたくさんあることに気付かされました。そんな日田を想いながら二十歳となった今、自分は何をすべきなのか、これからどう生きるべきかと深く考える日々です。

大学では日本各地から集まった友達や各国の留学生、教授の方々と日々生活を送る中で、新たな考え方や物の見方に出会うことができ、気付かされることも多く、毎日が勉強となっております。所属する学部におきましては、微生物や植物生理、生態系やアグリビジネスなど幅広い分野を学んでいます。TPPや日本の低い食料自給率、衰退する日本農業、求められる機能性食品、また安全性など数多くの問題がある現代社会。将来はそういった問題を解決できるような仕事をしたいと考えています。が、将来への期待と不安は常にあるのが正直なところです。自分が学んできたこと、能力を生かせるのは何であるのか、選ぶ道は本当に正しいのか。どうしたら良いか